

介護保険サービス事業所調査結果概要

- 1 調査期間 令和 8 年 5 月 29 日から令和 8 年 8 月 3 日
- 2 回収率 100.0% (372/372 事業所)
- 3 調査の目的 地域包括ケアシステムを支える人材の確保や業務効率化の取組みの強化が求められているため、介護保険サービス事業所の実態（介護職員の人数、介護ロボット・ICT 機器導入状況、サービス事業所の稼働率等）を調査する。
- 4 結果概要（令和 8 年 6 月 1 日現在）

(1)市内介護保険サービス事業所の職員の状況 【単位：人】

	入所系サービス	通所系サービス	訪問系サービス	合計
介護職員	1,224	813	1,028	3,065
介護助手	105	53	16	174
理学療法士	22	55	48	125
作業療法士	24	40	33	97
言語聴覚士	4	0	4	8
介護支援専門員	103	14	248	365
主任介護支援専門員	7	5	159	171
看護職員	223	192	362	777
(参考) 外国人介護人材	41	8	0	49

(2)介護ロボットの導入状況 【単位：事業所】

	導入 事業所数	導入率	種類別内訳				
			移乗	移動	排せつ	見守り	入浴
入所系サービス	26	40.6%	9	5	1	19	5
通所系サービス	13	13.0%	3	0	0	5	6
訪問系サービス	5	4.8%	2	1	0	2	3

(3)業務別 ICT 機器の導入状況 【単位：事業所】

	①記録業務	②情報共有	③報酬請求 業務	①～③全ての 業務を連動
入所系サービス	20	21	41	21
通所系サービス	35	53	60	37
訪問系サービス	68	127	140	64

(4)稼働率

入所系サービス	平均 92.3% 最大：特定施設 96.8% 最小：短期入所 84.6%
通所系サービス	平均 62.7% 最大：小規模多機能型居宅介護 76.4% 最小：通所リハビリテーション 42.8%
訪問系サービス	80 から 100%で稼働（156 事業所） 稼働に余裕あり（36 事業所）

介護保険サービス事業所調査について

八戸市 福祉部 介護保険課

発送事業所数：372件

回収事業所数：372件

回収率：100%

【介護保険サービス事業所調査】

調査の目的

地域包括ケアシステムを支える人材の確保や業務効率化の取組みの強化が求められており、介護保険サービス事業所の実態（介護職員の人数、介護ロボット・ICT機器導入状況、稼働率等）を調査する。

調査項目

- (1) 介護人材の状況
介護職員、介護助手、外国人介護人材の職員数のみならず、介護支援専門員、看護職員、リハビリテーションの専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）等について確認する。
- (2) 介護ロボットの活用状況
介護ロボットを導入しているかについて確認するとともに、導入予定、介護ロボットを導入した効果について確認する。
- (3) ICT機器活用状況
「①記録業務（介護記録等）」「②情報共有（事業所内外の情報連携を含む）」「③報酬請求業務」「①～③を一気通貫するシステム」などの活用状況について確認する。
令和5年4月開始されたケアプランデータ連携システムの活用状況と今後の導入予定について確認する。
- (4) 稼働率
サービス別の稼働率について確認する。定員がない訪問系サービスについては、事業計画等と比較して、稼働状況を調査する。

事業所数 (R8.6.1)

入所・入居系サービス：64事業所（介護保険施設、認知症対応型共同生活介護、特定施設（地域密着型含む）、（単独型）短期入所生活介護）
通所系サービス：100事業所（通所介護（地域密着型含む）、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護）
訪問系サービス：208事業所（介護予防支援、居宅介護支援、訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護）

【回答状況】 令和8年6月1日現在

	事業所数	回答数	回収率
入所系サービス	64	64	100.0%
通所系サービス	100	100	100.0%
訪問系サービス	208	208	100.0%
全体	372	372	100.0%

【職員の状況・介護職員】

		介護職員	介護助手	外国人介護人材
入所系サービス	R5	1,233人	53人	26人
	R8	1,224人	105人	41人
通所系サービス	R5	894人	66人	3人
	R8	813人	53人	8人
訪問系サービス	R5	1,145人	13人	0
	R8	1,028人	16人	0
全体	R5	3,272人	132人	29人
	R8	3,065人 (▲207)	174人 (+42)	49人 (+20)

介護職員は合わせて3,065人となっており、3年前の調査と比較すると約200人減少している。その一方、介護助手や外国人介護人材の人数は増加している。

【職員の状況・リハビリテーション職員】

	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士
入所系サービス	22人	24人	4人
通所系サービス	55人	40人	0
訪問系サービス	48人	33人	4人
全体	125人	97人	8人

【令和 5 年度調査との比較・リハビリテーション職員】

	令和 5 年度	令和 8 年度
理学療法士	124人	125人
作業療法士	80人	97人
言語聴覚士	13人	8人
合計	217人	230人

作業療法士は増え、言語聴覚士は減っている。理学療法士の人数は横ばいである。

【職員の状況・看護職員、介護支援専門員】

	看護職員	介護支援専門員	主任介護支援専門員 (※)
入所系サービス	223人 (0)	103人(+12)	7人(+3)
通所系サービス	192人 (▲33)	14人(+1)	5人(+1)
訪問系サービス	362人 (▲24)	248人 (▲9)	159人(+13)
全体	777人(▲57)	365人(+4)	171人(+20)

看護職員は通所系、訪問系サービスで減少している。

介護支援専門員は訪問系サービスで減少しているが、その他のサービスでは増加している。

※介護支援専門員の内、主任介護支援専門員の人数

【令和5年度との比較・介護支援専門員】

	令和5年度	令和8年度
訪問系サービス (居宅介護支援・介護予防支援)	257人	248人
比較	▲45人	▲9人

令和2年度と比較し45人減っていた令和5年度の調査と比較すると、令和8年度の介護支援専門員の減少人数は鈍化している。

【介護ロボットの導入状況】

	導入	導入率	介護ロボット別内訳 (複数回答)				
			移乗	移動	排せつ	見守り	入浴
入所系サービス	26/64事業所	40.6%	9	5	1	19	5
通所系サービス	13/100事業所	13.0%	3	0	0	5	6
訪問系サービス(※)	6/124事業所	4.8%	2	0	0	2	3

訪問系サービスは、居宅介護支援、介護予防支援は調査対象から除いて導入率を算出

【介護ロボットの導入状況及び令和5年度調査との比較】

	令和5年度		令和8年度	
	導入	導入率	導入	導入率
入所系サービス	24/63事業所	38.1%	26/64事業所	40.6%
通所系サービス	11/107事業所	10.3%	13/100事業所	13.0%
訪問系サービス	7/129事業所	5.4%	6/124事業所	4.8%

訪問系サービスでは減少しているが、入所・通所系サービスではともに導入事業所が増加している。

【介護ロボットを導入していない事業所の今後の導入予定について】

	今後の導入		導入予定時期				
	検討中	検討していない	R 8	R 9	R10	R11	未定
入所系サービス	20事業所	17事業所	0	0	0	0	20
通所系サービス	66事業所	21事業所	0	0	0	0	66
訪問系サービス	17事業所	101事業所	1	1	0	4	11

【介護ロボットを導入した効果について（複数回答）】

介護職の身体的負担の軽減	38事業所
介護職の心理的負担の軽減	34事業所
業務の生産性向上	21事業所
利用者の心理的負担の軽減	16事業所
介護事故予防	40事業所

【介護ロボットを導入しない理由について（複数回答）】

費用負担が大きい	57事業所
利用できる人材がいない	15事業所
必要性を感じない	57事業所
介護ロボットに関する情報知識がない	30事業所

【その他】

- ・ 設置するスペースがない
- ・ 会社の意向（3事業所）
- ・ 訪問先へ設置並びに持ち込みが難しい

【業務別ICT機器の導入状況及び令和5年度調査との比較】

		①記録業務 (介護記録等)	②情報共有 (※1)	③報酬請求業務	連動 (※2)
入所系サービス (R8 64事業所)	R5	9事業所	1事業所	19事業所	19事業所
	R8	20事業所	21事業所	41事業所	21事業所
通所系サービス (R8 100事業所)	R5	13事業所	2事業所	31事業所	33事業所
	R8	35事業所	53事業所	60事業所	37事業所
訪問系サービス (R8 208事業所)	R5	22事業所	18事業所	44事業所	59事業所
	R8	68事業所	127事業所	140事業所	64事業所

※1 事業所内外の情報連携（ケアプランデータ連携システム含む）

※2 ①から③の業務全てが連動するシステム

記録業務、情報共有に関するICT導入事業所が、全サービスとも2倍以上増加している。訪問系サービスでは、請求業務に関するICT導入事業所も2倍以上増加している。

【ICT機器を導入した効果について（複数回答）】

介護職の身体的負担の軽減	126事業所
介護職の心理的負担の軽減	119事業所
業務の生産性向上	272事業所
経費削減	63事業所

【稼働率（令和 7 年度）】（入所系サービス）

特別養護老人ホーム（地域密着型含む）	96.6%
介護老人保健施設	93.7%
介護医療院	90.1%
特定施設入居者生活介護（地域密着型含む）	96.8%
認知症対応型共同生活介護	92.1%
短期入所生活介護	84.6%

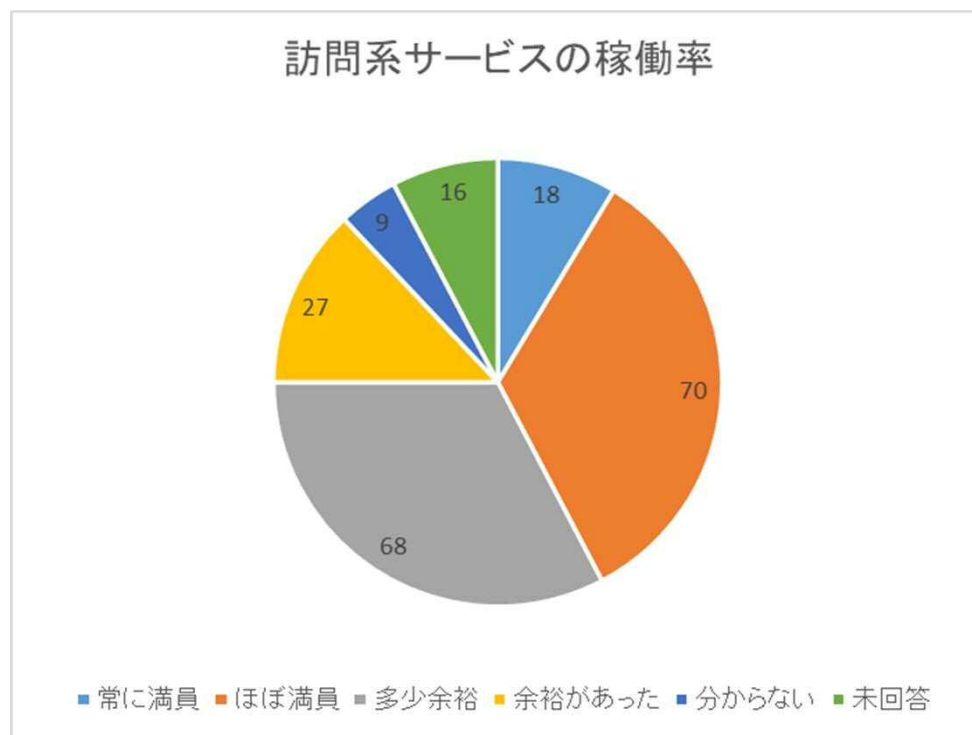
※稼働率 延べ入所者数／（定員×365日）

【稼働率（令和 7 年度）】（通所系サービス）

通所介護（地域密着型含む）	68.6%
通所リハビリテーション	42.8%
認知症対応型通所介護	63.4%
小規模多機能型居宅介護	76.4%
看護小規模多機能型居宅介護	62.7%

※稼働率 延べ利用者数／（定員×営業日）

【稼働率（令和7年度）】（訪問系サービス）



【稼働率】

常に満員であった（100％に近い）
ほぼ満員であった（90％台）
多少余裕があった（80％台）
余裕があった（70％以下）
分からない

【過去3年間の稼働率】

